

授業名	ブッダの教え		開講学年	1回生	単位数	2単位
英文名	Teaching of Buddha		開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	榎本 正明		対象学生	全1回生		
授業の概要	本講義は仏教の起源である開祖ブッダの時代に遡り、彼の生き方とその教えを中心として概説することにより、ブッダが残した「宗教真理」が我々の心の糧として、我々の生きる意義を示していることを理解させる。「宗教とは何か」「仏教成立の時代背景」「ブッダの生涯」「ブッダの教え」という4つのテーマの下に、宗教観、仏教という宗教誕生の必然性、仏教の開祖ブッダの生涯、ブッダの教説（四諦説・縁起等）を概説する。					
学習成果到達目標	1) 建学の理念を理解する。 2) 仏教の宗教真理である「苦悩」の理念を自らの問題として理解する。 3) 仏教の宗教真理である「縁起」の理念を自らの問題として理解する。					
評価方法	定期試験 (100%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		平常試験 (%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> 汎用能力) <input type="checkbox"/> ()				
テキスト	『ブッダの教え』 佛教大学仏教学科 編 (佛教大学通信教育部)					
参考書	使用しない。					
留意事項	板書や講義の内容をしっかりとノートに取ること。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	「宗教とは何か」		(内 容) 日本人の宗教観について共に考える。 (必要な準備) シラバスを読んでおく。			
第2回	「宗教とは何か」		(内 容) 宗教の目的と意義について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第3回	「宗教とは何か」		(内 容) 宗教の分類と「仏教」の位置付けについて概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第4回	「仏教成立の時代背景」		(内 容) 仏教発祥の地であるインドの歴史を、その起源よりアリア人のインド侵入の時期までを概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第5回	「仏教成立の時代背景」		(内 容) アリア人のインド定住と、そこに生じた新たな思想(業・輪廻)について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第6回	「仏教成立の時代背景」		(内 容) 仏教の開祖ブッダ出現年代に起こった思想的変革を概説し、仏教という新宗教誕生の必然性を考察する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第7回	「ブッダの生涯」		(内 容) 仏教の開祖ブッダの生涯を、誕生とその事蹟、出家以前の生活について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第8回	「ブッダの生涯」		(内 容) ブッダの出家の経緯について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第9回	「ブッダの生涯」		(内 容) ブッダの出家の経緯について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第10回	「ブッダの生涯」		(内 容) ブッダの「さとり」を中心として種々なエピソードを含めつつ概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第11回	「ブッダの教え」		(内 容) ブッダの教説「四諦説」の苦聖諦・苦集聖諦を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第12回	「ブッダの教え」		(内 容) 「四諦説」の苦滅聖諦・苦滅道聖諦と八正道について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第13回	「ブッダの教え」		(内 容) 「縁起説」について概説し、ブッダの教説が現代の我々と如何に関わるかを共に考える。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第14回	「ブッダの生涯」		(内 容) ブッダの成道後の教団形成とブッダの涅槃までを概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第15回	講義総括		(内 容) 講義のまとめ、ブッダの教えが現代の我々と如何に関わるかを共に考える。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
オフィスアワー	後日研究室前に掲示します。					

授業名	法然上人の思想と生涯	開講学年	1回生	単位数	2単位
英文名	Saint Honen's Thought and His Life	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	榎本 正明	対象学生	全1回生		
授業の概要	本講義は浄土宗の開祖である法然上人の生涯とその教えを中心として学ぶことにより、日本仏教の改革者として現れる法然上人の「生き方」と「思想」から、我々人間としての在り方を考えさせる。「浄土教とは」「法然上人の生きた時代」「法然上人の生涯」「法然上人の教え」という4つのテーマの下に、浄土教、法然上人出現の必然性、浄土宗の開祖法然上人の生涯、法然上人の教説（本願念仏・浄土往生等）を内容とする。				
学習成果到達目標	1) 建学の理念を理解する。 2) 法然浄土教の「念仏観」を自らの問題として理解する。 3) 法然浄土教の「平等観」を自らの問題として理解する。				
評価方法	定期試験 (100%) <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 () <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checked="" type="checkbox"/> 汎用能力 ()			
テキスト	『法然上人のご生涯とその教え』 佛教大学 編 (佛教大学通信教育部)				
参考書	使用しない。				
留意事項	板書や講義の内容をしっかりとノートに取ること。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	「浄土教とは」	(内 容) ブッダ亡き後の仏教教団の形成について概説する。 (必要な準備) ブッダの教えのノートを読み返しておくこと。			
第2回	「浄土教とは」	(内 容) 部派仏教から大乘仏教成立までを概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第3回	「浄土教とは」	(内 容) 浄土教思想の誕生と形成を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第4回	「浄土教とは」	(内 容) 中国での浄土教思想の発展を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第5回	「法然上人の生きた時代」	(内 容) 日本への仏教伝来から奈良仏教までを概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第6回	「法然上人の生きた時代」	(内 容) 平安時代の仏教を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第7回	「法然上人の生きた時代」	(内 容) 日本での浄土教思想の展開を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第8回	「法然上人の生涯」	(内 容) 誕生から出家・修学時代を概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第9回	「法然上人の生涯」	(内 容) 求道の遍歴から浄土宗開宗について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第10回	「法然上人の教え」	(内 容) 阿弥陀仏の本願について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第11回	「法然上人の教え」	(内 容) 往生と成仏について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第12回	「法然上人の教え」	(内 容) 本願念仏から選択本願念仏について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第13回	「法然上人の教え」	(内 容) 念仏のころ、患者の自覚について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第14回	「法然上人の生涯」	(内 容) 念仏の興隆と法難、法然上人以後の展開について概説する。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
第15回	講義総括	(内 容) 講義のまとめ、法然上人の教えが現代の我々と如何に関わるかを共に考える。 (必要な準備) 前回授業のノートを読み返しておくこと。			
オフィスアワー	後日研究室前に掲示します。				

授業名	総合基礎演習 I sa・I sb・I sc・I sd		開講学年	1 回生	単位数	1 単位
英文名	Freshman Seminar I		開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	遠藤純・藤井伸生・湯浅俊郎・山川宏和		対象学生	現代家政1 回生		
授業の概要	何を身につけたいか、何を学びたいか、どのような学生生活を送りたいか、各学生が考える機会にする。他の学生と考えを交流し相互理解を深めながら、各学生の学びの方向性を明確にする。					
学習成果到達目標	1) コミュニケーション能力の基礎力を身につける。 2) プレゼンテーション能力の基礎力を身につける。 3) マネージメント能力の基礎力を身につける。					
評価方法	定期試験 (80 %)	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (20 %)	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checkbox="" type="checkbox/>() <input type="/> ()				
テキスト	『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社					
参考書	適宜参考書を紹介する。					
留意事項	ゼミを通して大学でのネットワークづくりをし、楽しみながら学べる環境作りをしたいので、個々の学生の積極的な取り組みが望まれる。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	オリエンテーション		(内 容) 春学期の授業の進め方について (必要な準備) テキストを購入しておく			
第2回	文章の書き方の基本ルールを学ぶ		(内 容) 文章の基本的な表記法について (必要な準備) テキストの第1章を読んでおく			
第3回	自分で調べる方法を学ぶ		(内 容) インターネットや学術書等からの情報収集方法 (必要な準備) パソコン操作を確認しておく			
第4回	レポート提出の方法を学ぶ		(内 容) ファイルを添付してメールを送る方法 (必要な準備) パソコン操作を確認しておく			
第5回	プレゼンテーション		(内 容) プレゼンテーションの実施手順について (必要な準備) パソコン操作を確認しておく			
第6回	個人別プレゼンにむけた情報検索①インターネット検索実践演習		(内 容) インターネットでの資料検索方法の実践 (必要な準備) テキストの第3章を読んでおくこと			
第7回	個人別プレゼンにむけた情報検索②資料(紙媒体)検索実践演習		(内 容) 学術書等紙媒体からの資料検索の実践 (必要な準備) テキストの第3章を読んでおくこと。			
第8回	個人別プレゼンにむけた情報検索③資料検索実践総合演習		(内 容) インターネットを含む資料検索の総合実践演習 (必要な準備) 個人発表の内容を具体的に考えてくること。			
第9回	個人別プレゼンテーションと討論①		(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第10回	個人別プレゼンテーションと討論②		(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第11回	個人別プレゼンテーションと討論③		(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第12回	個人別プレゼンテーションと討論④		(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第13回	1 回生ゼミ連絡会		(内 容) (夏期休暇中のレポート課題発表・夏期ボランティア等紹介) (必要な準備) 進路を見据えた夏期休暇中の計画の事前準備			
第14回	レポート・文章の書き方(基本)まとめ		(内 容) 発表を終えての文章の書き方・1200 字程度のレポート作成について (必要な準備) 春学期の振り返りをしておくこと。			
第15回	春学期到達度確認・まとめ		(内 容) 秋学期に向けて課題を考える。 (必要な準備) 秋学期に向けての課題を考えておくこと。			
オフィスアワー	オフィスアワーは設定しますが、研究室に在室していれば対応します。どうしても場合は、事前に E メールしてください。					

授業名	総合基礎演習 I ta・I tb・I tc		開講学年	1 回生	単位数	1 単位
英文名	Freshman Seminar I		開講時期	春学期	必修・選択	必修
担当者	饗庭照美、猿渡綾子、岩佐真代		対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	何を身につけたいか、何を学びたいか、どのような学生生活を送りたいか、各学生が考える機会にする。他の学生と考えを共通し、相互理解を深める。					
学習成果到達目標	1) コミュニケーション能力の基礎力を身につける。 2) プレゼンテーション能力の基礎力を身につける。 3) マネージメント能力の基礎力を身につける。					
評価方法	定期試験 (80 %)	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (20 %)	<input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技		
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input checkbox="" type="checkbox/>() <input type="/> ()				
テキスト	『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社					
参考書	適宜参考書を紹介する。					
留意事項	ゼミを通して大学でのネットワークづくりをし、楽しみながら学べる環境作りをしたいので、個々の学生の積極的な取り組みが望まれる。					
授業計画	学習項目		学習内容・課題			
第1回	オリエンテーション		(内 容) 春学期の授業の進め方について (必要な準備) テキストを購入しておく			
第2回	大学でのノートの取り方を学ぶ		(内 容) 大学でのノート作成方法について (必要な準備) テキスト1の第1章を読んでおく			
第3回	文章の書き方の基本ルールを学ぶ		(内 容) 文章の基本的な表記法について (必要な準備) テキスト2の第1章を読んでおく			
第4回	自分で調べる方法		(内 容) インターネットや学術書等からの情報収集方法 (必要な準備) テキスト1の第2章を読んでおく			
第5回	文章作成・検索実践まとめ		(内 容) 文章作成・検索実践補足説明 (必要な準備) テキスト1・2の復習			
第6回	プレゼンテーション		(内 容) プレゼンテーションの意味・実施手順について (必要な準備) テキスト1の第6章を読んでおく			
第7回	プレゼン補足説明・グループ分け・グループプレゼン準備		(内 容) グループで課題を深め、まとめる。 (必要な準備) 情報のまとめかたを考えてくること。			
第8回	グループプレゼン実践 1 回目「文章を読む」		(内 容) グループ発表をする (必要な準備) 発表準備をしておくこと。			
第9回	グループプレゼン実践 2 回目「ひとと議論して考える」		(内 容) グループ発表をする。 (必要な準備) 発表の準備をしておくこと。			
第10回	グループプレゼン実践 3 回目「レポートを書く」		(内 容) グループ発表をする。 (必要な準備) 発表の準備をしておくこと。			
第11回	グループプレゼン実践予備日・レポート・文章の書き方補足説明		(内 容) グループ発表をする。 (必要な準備) 発表の準備をしておくこと。			
第12回	レポート・文章の書き方(基本)まとめ		(内 容) 発表を終えての文章の書き方の振り返りおよびまとめ (必要な準備) これまで学んだテキスト箇所(の)復習			
第13回	1 回生ゼミ連絡会		(内 容) (夏期休暇中のレポート課題発表・夏期ボランティア等紹介) (必要な準備) 進路を見据えた夏期休暇中の計画の事前準備			
第14回	文章作成実践・春学期到達度確認		(内 容) 800 字程度のレポート作成・春学期の自己到達点を考える。 (必要な準備) 春学期の振り返りをしておくこと。			
第15回	秋学期に向けて		(内 容) 秋学期に向けて課題を考える。 (必要な準備) 秋学期に向けての課題を考えておくこと。			
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。					

授業名	総合基礎演習Ⅱ sa・Ⅱ sb・Ⅱ sc・Ⅱ sd	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Freshman SeminarⅡ	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	遠藤純・藤井伸生・湯浅俊郎・山川宏和	対象学生	現代家政1回生		
授業の概要	グループで企画を立て実践し、省察する。また、2回生以降の学びの目標をどこにおくかを考え、自分自身の課題設定を行う。				
学習成果到達目標	1) 資料を収集し、レポートを作成する能力を身につけ、他の学生へプレゼンテーションすることができる。 2) 4年間の学生生活の基礎となるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・マネジメント能力が身に付く。				
評価方法	定期試験 (80%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (20%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input type="checkbox"/> () <input type="checkbox"/> ()			
テキスト	『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社				
参考書	適宜参考書を紹介する。				
留意事項	主体的にゼミ運営をしていくことが期待される。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	夏季レポートのプレゼンテーション①	(内 容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第2回	夏季レポートのプレゼンテーション②	(内 容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第3回	夏季レポートのプレゼンテーション③	(内 容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第4回	企画に基づいたグループ活動①企画	(内 容) 企画に基づいた活動。 (必要な準備) 企画実施に必要なことを考えておくこと。			
第5回	企画に基づいたグループ活動②実践	(内 容) 企画に基づいた活動。 (必要な準備) 企画実施に必要なことを考えておくこと。			
第6回	個人別プレゼンにむけた情報検索①インターネット検索実践演習	(内 容) ネットでの資料検索方法の実践 (必要な準備) テキストの第2章を読んでおくこと			
第7回	個人別プレゼンにむけた情報検索②資料(紙媒体)検索実践演習	(内 容) 学術書等紙媒体からの資料検索の実践 (必要な準備) テキストの第2章を読んでおくこと。			
第8回	個人別プレゼンにむけた情報検索③資料検索実践総合演習	(内 容) ネットを含む資料検索の総合実践演習 (必要な準備) 個人発表の内容を具体的に考えてくること。			
第9回	個人別プレゼンテーションと討論①	(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第10回	個人別プレゼンテーションと討論②	(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第11回	個人別プレゼンテーションと討論③	(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第12回	個人別プレゼンテーションと討論④	(内 容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第13回	レポート・文章の書き方 (応用)まとめ	(内 容) 個人発表を踏まえたレポート作成 (必要な準備) 個人発表の資料を持参すること。			
第14回	秋学期の到達度確認	(内 容) 春学期・秋学期の自己到達点を考える。 (必要な準備) 1年間の振り返りをしておくこと。			
第15回	まとめ	(内 容) 2回生に向けての課題を考える。 (必要な準備) 課題を考えてくること。			
オフィスアワー	オフィスアワーは設定しますが、研究室に在室していれば対応します。どうしても場合は、事前に E メールしてください。				

授業名	総合基礎演習Ⅱta・Ⅱtb・Ⅱtc	開講学年	1回生	単位数	1単位
英文名	Freshman SeminarⅡ	開講時期	秋学期	必修・選択	必修
担当者	饗庭照美、猿渡綾子、岩佐真代	対象学生	食物栄養1回生		
授業の概要	グループで企画を立て実践し、省察する。また、2回生以降の学びの目標をどこにおくかを考え、自分自身の課題設定を行う。				
学習成果到達目標	1) 資料を収集し、レポートを作成する能力を身につけ、他の学生へプレゼンテーションすることができる。 2) 4年間の学生生活の基礎となるプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力・マネジメント能力が身に付く。				
評価方法	定期試験 (80%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技	平常試験 (20%) <input type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 制作物 <input checked="" type="checkbox"/> 口述 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技			
評価基準	主たる評価の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 知識・理解 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション能力 <input checked="" type="checkbox"/> 課題発見・解決能力 <input 5"="" type="checkbox/>()</td> </tr> <tr> <td>テキスト</td> <td colspan="/> 『新版 大学生のためのレポート・論文術』講談社			
参考書	適宜参考書を紹介する。				
留意事項	主体的にゼミ運営をしていくことが期待される。				
授業計画	学習項目	学習内容・課題			
第1回	夏季レポートのプレゼンテーション①	(内容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第2回	夏季レポートのプレゼンテーション②	(内容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第3回	夏季レポートのプレゼンテーション③	(内容) レポートにもとづいたプレゼン (必要な準備) プレゼン資料			
第4回	企画に基づいたグループ活動①企画	(内容) 企画に基づいた活動。 (必要な準備) 企画実施に必要なことを考えておくこと。			
第5回	企画に基づいたグループ活動②実践	(内容) 企画に基づいた活動。 (必要な準備) 企画実施に必要なことを考えておくこと。			
第6回	個人別プレゼンにむけた情報検索①インターネット検索実践演習	(内容) ネットでの資料検索方法の実践 (必要な準備) テキスト1の第2章・テキスト2の第3章を読んでおくこと			
第7回	個人別プレゼンにむけた情報検索②資料(紙媒体)検索実践演習	(内容) 学術書等紙媒体からの資料検索の実践 (必要な準備) テキスト1の第2章・テキスト2の第3章を読んでおくこと。			
第8回	個人別プレゼンにむけた情報検索③資料検索実践総合演習	(内容) ネットを含む資料検索の総合実践演習 (必要な準備) 個人発表の内容を具体的に考えてくること。			
第9回	個人別プレゼンテーションと討論①	(内容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第10回	個人別プレゼンテーションと討論②	(内容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第11回	個人別プレゼンテーションと討論③	(内容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第12回	個人別プレゼンテーションと討論④	(内容) 個人発表をする。 (必要な準備) 発表内容の資料をつくってくること。			
第13回	レポート・文章の書き方(応用)まとめ	(内容) 個人発表を踏まえたレポート作成 (必要な準備) 個人発表の資料を持参すること。			
第14回	秋学期の到達度確認	(内容) 春学期・秋学期の自己到達点を考える。 (必要な準備) 1年間の振り返りをしておくこと。			
第15回	2回生に向けて	(内容) 2回生に向けての課題を考える。 (必要な準備) 課題を考えてくること。			
オフィスアワー	初回の授業で連絡します。				